

いいね！職員チャレンジ 発表会

「地域のプレイヤー」に、おれはなる！ —超過疎の地元、だから面白く—

2023/3/28

村人／農家手伝い／公務員／SHIP共同代表
合同会社風の谷の大鹿 社員／カフェレストラン店員

北澤 淳（きたざわ あつし）

- ずっと抱えていた「**地元**」への思い
- 公務員であっても、仕事以外で何かにコミットして行動を起こしたい
- コミット=責任を持って、主体的に。
- できるかどうかより、やるかやらないか。
やってみなければわからない。
- 公務員の複業に「こういうやり方もある」という例を示したい

→**社会貢献職員応援制度を活用**

Q. 北澤は何をしているのか？

**A. 生まれ育った故郷・大鹿村に新たな風を興すため
地元の仲間と地域づくりのための合同会社を設立。
人口1000人以下、深刻な高齢化が進むこの村独自の
文化と暮らしを未来へつなぐため、村の内と外から
活動しています。
まずは地元の標高1500mの地で、カフェレストラン
の運営を始めました。**

北澤 淳（きたざわ あつし）



- 1985年 南信州・大鹿村生まれ
- 茨城県水戸市で大学4年間
- 2008年 長野県庁に入庁
- 税務→総務事務→観光→民間研修
→官民共創

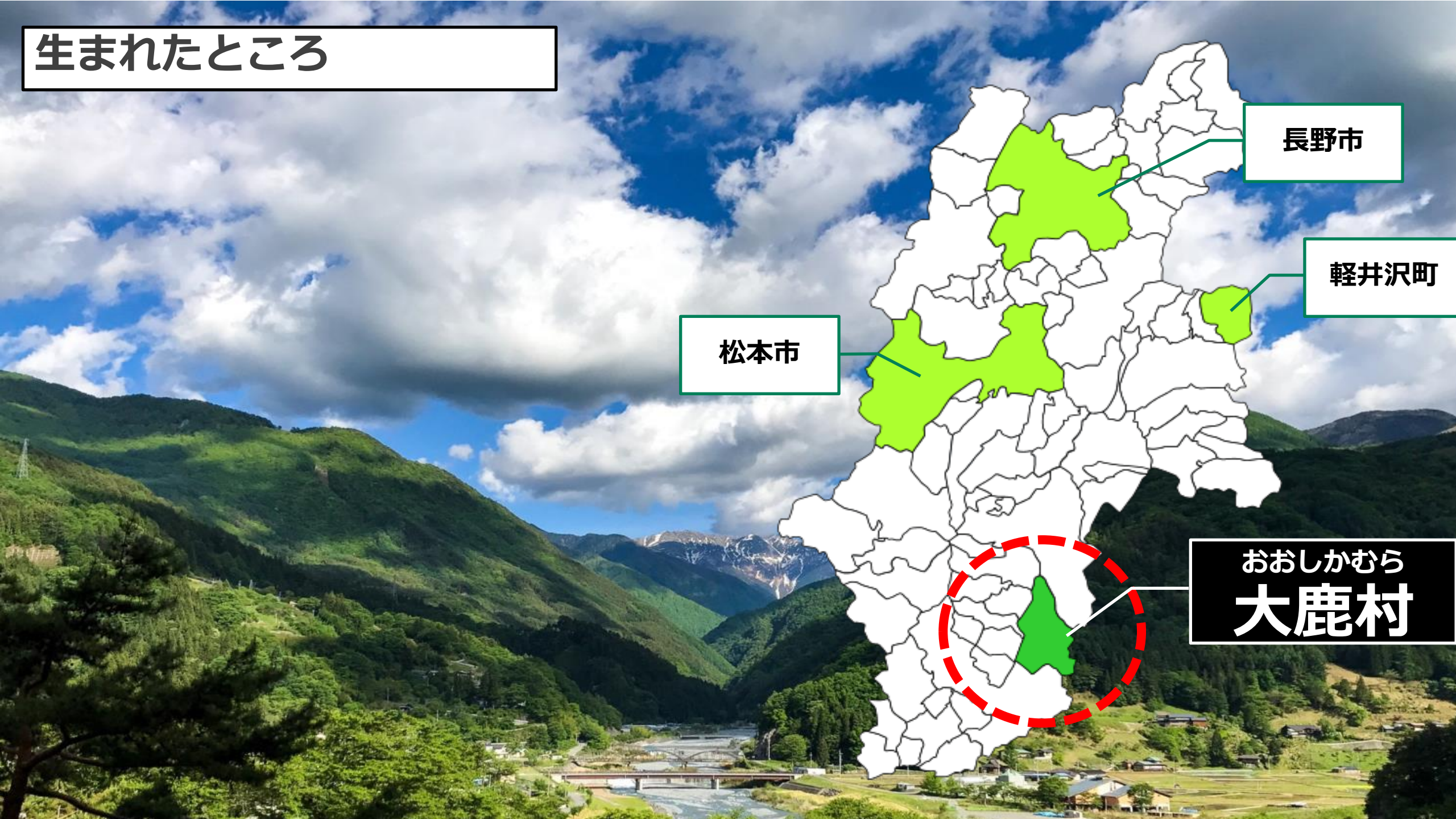
生まれたところ

松本市

長野市

軽井沢町

おおしかむら
大鹿村



取り組みの概要

- 地元の圧倒的な課題は「**プレイヤーの不在**」。そのため、まずは自分たちが主体的なプレイヤーとなり、周りを巻き込んで実体的な経済活動を作っていくことを試みた
- 活動の第一歩として**カフェを開設**。開業にあたりクラウドファンディングを実施。
約300名から300万円の大きなご支援をいただく（皆様に感謝！）。



取り組みの概要

- R4.5～**標高1500m**の高原地帯にカフェをオープン。商業的には圧倒的な条件不利地域だが、あまりにも山奥しかし絶景であったため、口コミを中心にかえって話題が広がる結果に。



結果

• 人気Instagram「伊那谷BASE」さんで第一位！！



結果

- 各種メディア（信毎、中日、南信州、東海ウォーカー、長野komachi、経済月報、中京テレビ等）掲載。
- 公務員の副業という文脈でNHK／SBCで**ローカル＋全国**にて放送、そこそこ反響を呼ぶ。

今後の取り組み

- VISION -

飲食事業を起点に
仲間をつくり、内外の交流を生み出す。
村の未来を創り出す、
ひと・もの・ことをつなぐ起点となる。

村を盛り上げる
活動を紡ぎ出す

村の未来のために
活動する仲間を
つなぎ、つむぐ



公務員の副業（複業）

複業のメリット

- 綺麗ごとじゃない「民間感覚」が身につく
- ・ ビジネス感覚（原価計算や儲け、紙1枚でも貴重）
 - ・ 顧客対応
 - ・ 契約・購入等のスピード感
 - ・ 行政手続きの面倒くささに辟易（情報がまとまってない、手間がかかる）

公務員としての強みの発揮

- ・ 正しい文書作成、申請書関係、事務手続き、エクセルができるだけでも貴重

村民として：村の新たなつながり・出会い、応援してくれる方々の期待

複業のデメリット

忙しい。
本当は体が二つか時間が二倍ほしい

めっちゃめっちゃ金も時間も頭も使う
（その余裕がないと厳しい時もある）

社会貢献職員応援制度の今後

より「地域で活動する公務員」を増やしたい

- ・ 営利活動も地域に貢献できる
- ・ 活動を継続するためには利益を上げることも重要
- ・ 営利企業への従事や、より“起業”に近い位置での活動、地域プレイヤーの起業支援に携わる、自らが地域プレイヤーとともに地域のプレイヤーになる
そんな活動をしたい職員からの相談も多い
→許容する活動の幅が広がってほしい

まとめるとするならば

仕事で成果を出すのも素晴らしい
家庭をシェアせにするのも最高
地域で役割を果たすのも本当すごい

→僕のケースは
ただただ、そんな選択肢のひとつ。

「こういうのもありだよね」の
参考例になれば。

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしく申し上げます。

